

# 會務報告

第29卷第4號 昭和18年4月

## 役員會

### 第1 同常議員會 (昭. 18. 2. 22.)

出席者： 黒河内會長，鈴木，内海兩副會長，岩澤常  
議員外 16 名，岡野前會長外 4 名，中村  
書記長，小野寺庶務主任外 2 名

### 報 告

1. 西部支部役員會議事
2. 朝鮮支部役員會議事

### 議 事

1. 昭和 18 年度理事に次の諸君を選挙せり。  
瀧淵實烈君 山下輝夫君 福田武雄君  
信澤貞治君 徳善義光君 鈴木清一君
2. 昭和 18 年度部長に次の諸君を選任せり。  
總務部長 瀧淵實烈君 調査部長 信澤貞治君  
經理部長 山下輝夫君 法制部長 徳善義光君  
編輯部長 福田武雄君 東亞部長 鈴木清一君
3. 本會選出日本工學會編輯委員に福田武雄君を依  
囑
4. 西部支部昭和 17 年度收支決算別紙 (省略) の  
通り承認
5. 西部支部昭和 18 年度收支豫算別紙 (省略) の  
通り承認
6. 朝鮮支部昭和 17 年度收支決算別紙 (省略) の  
通り承認
7. 朝鮮支部昭和 18 年度收支豫算別紙 (省略) の  
通り承認
8. 規格調査委員會設置に關しては理事會に於て具  
體案を協議することとせり
9. 入退會を別記の通り承認

### 第 1 同理事會 (昭. 18. 3. 8.)

出席者： 黒河内會長，内海副會長，山下理事外 3  
名，中村書記長，小野寺庶務主任外 2 名

### 報 告

1. 第 3 回日本工學會大會委員會議事
2. 滿洲土木學會役員會議事

### 議 事

1. 昭和 18 年度會誌編輯委員會委員に次の諸君を

### 依囑

委員長	福田武雄君	
委員	東 壽君	五十嵐醇三君
	岡本舜三君	杉戸 清君
	須之内文雄君	千秋邦夫君
	丹羽良彦君	藤森謙一君
	星野陽一君	本間 仁君
	最上武雄君	米屋秀三君

2. 大東亞建設調査委員會委員に鈴木清一君を依囑
3. 日本工學會大會經費負擔額に關しては經理部長  
に一任
4. 日産會申入れに依る土木關係發明考案者の選定  
は次回迄に各理事より候補者を持寄ることとせり
5. 滿洲土木學會と交換したる覺書中第 12 條を別  
紙 (省略) の通り變更
6. 聖戰下に於て土木學會は何を爲すべきかに就き  
來る 22 日常議員會を開催協議することとせり

## 總務部記事

### 文化映畫委員會 (昭. 18. 2. 18)

出席者： 青木委員長，五十嵐委員外 6 名，徳丸囑  
託，小野寺庶務主任

### 協議事項

1. 小國民出版文化協會よりの依囑により土木に關  
する幼年教育資料繪本の編纂に就き方針を協議
  2. 本委員會將來の方針に就き協議
- 午餐會 (地方委員鐵道省地方施設部長會議關係招待)  
(昭. 18. 3. 6)

會 場： 大東亞會館 (丸之内)

出席者： 阿部施設部長外 6 名，小林局長外 7 名，  
黒河内會長，瀧淵常議員外 6 名，名井前  
會長外 6 名，中村書記長，小野寺庶務主  
任外 2 名，

午餐會 (鐵道局施設部長會議關係招待)

(昭. 18. 3. 11)

會 場： 東洋軒 (三信ビル)

出席者： 西岡施設部長外 9 名，小林局長外 15 名，  
内海副會長，瀧淵常議員外 5 名，名井前

會長外 3 名, 中村書記長, 小野寺庶務主任外 2 名

出席者: 坂田會長, 本間副會長, 坂上常議員外 4 名, 濱主事外 1 名

調 査 部 記 事

コンクリート調査委員會 (第 9 回道路舗装コンクリート小委員會) (昭. 18. 2. 19.)

出席者: 沼田委員長, 吉田委員外 7 名

1. 第二議會案 第 33 條, 第 34 條を審議
2. 先般以來保留となり居りたる第 20 條, 第 23 條第 3 項, 第 25 條第 2 項を審議し第二議會を完了
3. 第三議會案を至急印刷し各方面の意見を徴したる上, 次回小委員會を 3 月 19 日 (金) 開催。

議 事

1. 通常總會並に學術講演會開催に關する件
2. 會誌贈呈に關する件
3. 入退會の件其他

日 本 工 學 會 記 事

第 5 回日本工學會大會第 1 回委員會議事 (昭. 18. 2. 28.)

1. 大會開催地, 場所並に日程
2. 總會
3. 參加勸誘の範圍
4. 部會の組織
5. 通俗講演會
6. 拜觀及見學
7. 放送
8. 大會次第書, 參加名簿及大會記録
9. 工業展覽會
10. 晚餐會

編 輯 部 記 事

第 3 回會誌編輯委員會 (昭. 18. 3. 3.)

出席者: 福田委員長, 東, 五十嵐, 岡本, 千秋, 丹羽, 星野, 本間, 最上, 米屋各委員, 村上編輯主任, 鹽谷, 梅津, 鈴木各嘱託

1. 第 29 卷第 2 號登載原稿謝禮決定
2. 第 29 卷第 5 號登載原稿決定
3. 第 29 卷第 2 號登載論文の討議依頼先決定

そ の 他 記 事

土木學會誌第 29 卷第 3 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり。

滿 洲 土 木 學 會 記 事

第 1 回役員會 (康. 10. 2. 22.)

入 會 及 轉 格 會 員

特 別 會 員 (入 會)

帝國石油株式會社	橋本圭三郎	3 級	岡 組	岡 常次郎	1 級
株式會社阿川組	宇野常吉	3 級	岡田組	岡田 實	"
合名會社阿川組	梶原喜代二	2 級	錦州市公署	市 長	2 級
安東市公署	市 長	"	義合祥	齊藤忠之丞	"
鞍山市公署	藥師神榮七	"	坂本組	坂本泰通	1 級
伊賀原組	伊賀原岩吉	3 級	柳谷組	柳谷仙次郎	"
營口市公署	工務科長	"	眞田水道工務所	眞田金城	3 級
大村組	大村寛藏	2 級	哈爾濱市公署	市 長	2 級
新京特別市公署	市 長	1 級	海拉爾市公署	國米正秀	3 級
大同組	湯淺義知	2 級	高岡鐵工株式會社	内田銈司	2 級

辰村組	辰村米吉	2級	福昌公司	相生常三郎	1級
千々岩組	千々岩榮	3級	福高組	高梨勉一	"
齊々哈爾市公署	市	2級	撫順市公署	後藤英男	2級
佳木斯市	"	"	奉天市	市長,工務處長	1級
鐵道工業株式會社	山岸源藏	"	牡丹江市	平山一男	2級
滿洲支店	清水賢雄	1級	本溪湖市	村田福次郎	"
東亞土木企業株式會社	長濱德市	3級	滿洲大會土木株式會社	籠田定憲	1級
長濱組	發地長太郎	"	滿洲大森林組	高橋誠一	"
日產土木株式會社	今坂德次郎	"	"鹿島組	松井惠吾	2級
滿洲營業所	長谷川甚雄	1級	"鴻池組	田中勇吉	"
日進土木株式會社	黑岩正夫	"	滿洲航空株式會社	柴田秀雄	3級
長谷川組	竹中喜義	"	滿洲戶田組	熊谷恭治	2級
滿洲清水組	內田銈司	"	"飛鳥組	村松靖平	3級
"錢高組	神谷新一	3級	"西松組	宮川清	2級
"高岡組	葛井新助	2級	"間組	藤川松次	1級
"竹中工務店	大石義郎	3級	"松村組	松村雄二	2級
"葛井組	永吉由藏	1級	"松本組	松本勝太郎	3級
"土地開發株式會社					
"土木株式會社					

正 會 員 (入 會)

金田段次郎 佐藤繁 坂野增田 會我重次郎 應野力雄 山口治身

准 會 員 (入 會)

石丸久 市川英武 太田嘉新 岡元保 久保田俊一 佐藤宗義  
下坂和 鈴木佳一 武尾及 田秀安 前川惠 三浦海一 村尾政 幸吉  
澤伊藤 鳴牛 島泰 川張川 柴田健 合志恭 武永 瀨 富三

學 生 會 員 (入 會)

會市小 恒道博 一勤雄介 天猪小 野鼻原 敬正春 朗明雄 有今大 好泉問 晉濤春 治一彦 伊江加 藤田義 護宏孝 池小棍 野合原 洋重勝 一美之 石小神 川野田 又野田 郎修正  
小岩熊 川永谷 井昌夫 小川竹 上田木 川正 大內近 河鐵關 藤土山 兩中山 佐中 好泉問 藤野 根澤肥 口川井 村 晉濤春 幸公 孝信 慎吉 春鐵 鴻時 蘭 孟 治一彦 雄彦 朗政 治隆 夫志 郎夫 壽述 孟 伊江加 藤近 田玉西 星鳥山 和 西關 白新 藤田義 復藤 澤井 村寅 昌耕 一 中石 井國 護宏孝 勤夫 雄一 男 匡則 一 雄 濤清 平 池小棍 木近 田寺 長星 西余 宮 阪木 徐井 野合原 勝正 一 研 川野 常一 茂和 俊 洋重勝 太正 一 野湖 永黑 戶文 俊 一美之 郎敏 郎 顯 昇 廣 郎 男 彦 勝 安 夫 石小神 熊齋 多 戶羽 前 森 橫 脇 水 菊 杉 井 川野田 計 爲 田 戶 野池 川 俊言 貞 敬 又野田 爲 田 戶 野池 川 俊言 貞 敬 郎修正 馬也 雄二 治雄 靜 實 洵 一 成 次 誠

岩落費	村合永	正洋永	毅一油	干溫山	世國崎	公探三	大狩楊	谷野大	剛亥山	王新芳	維張川	荃奎廣	荃二一	王林劉	寵長茂	賢治軒	游肥	見後	正雄	雄勇		
(轉 格)																						
土景宮	井山	三美	郎之著	石笠姜	黑原國	善欣國	雄二衡	風片金	卷山寶	友久寶	治雄祥	鶴關金	田明命	林廉錫	造廉錫	小韓黑	川維川	哲恒鴻	夫潘文	王魏吳	世尉慶	隆民昇
高尙	玉永	美久	慶鑑	項徐	鴻克	國鴻	才謙	黃鈴	春木	寶春木	祥蕃夫	蔡蒜張	克鴻樹	誠璞森	誠璞森	崔薛張	川鴻	鴻	藝超	周祖張	慶慶世	昇全徵
孫了	久建	建克	助駿	孫南	福景	克福	良元	孫西	裕村	松裕村	福篤郎	張廣李	一雨	郎生	郎生	屈李	泳王	江德	松宮	張松宮	世溥浦	全徵清
楊敦	見吉	宗吉	章夫	南吉	景富	景繁	美也	西中	川志	次堅	郎憲	佐々	木守	保	保	大	秀	德雄	安	丸常	浦明	博明雄

土 木 學 會 々 員 數 (昭. 18. 2. 22. 現在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合計
5	4639	6529	1928	182	25	13308

正會員 前會長 男爵中村謙一君は昭和 18 年 2 月 26 日薨去せられたり 本會は靈前に弔詞並に花籠を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 春木節郎君は昭和 18 年 2 月 19 日逝去せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 宇野保三君、太田 弘君、村山正雄君 の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

## 會 告

### 土木學會第 5 回年次學術講演會の論文募集

昭和 18 年 10 月 9 日より下記の如く名古屋市に於て第 5 回年次學術講演會が開催されますから多數會員の論文御提出を希望致します。

- 日 時: 第 1 日 昭和 18 年 10 月 9 日 (土曜日)  
午前 講演, 午後 講演, 夕 懇親會  
第 2 日 昭和 18 年 10 月 10 日 (日曜日)  
午前 講演, 午後 見學 (名古屋市内及附近)  
第 3 日 昭和 18 年 10 月 11 日 (月曜日) 以後見學旅行  
見學旅行の詳細は追て會告す。

講演會場: 名古屋高等工業學校内

#### 論文提出に関する注意

1. 論文提出の申出 論文御提出の方は昭和 18 年 6 月 15 日迄に其題目を名古屋高等工業學校内講演委員會宛に御申出のこと。
2. 論文要旨の提出 論文要旨は昭和 18 年 7 月 31 日迄に御提出のこと。要旨は字數 600 字以内のこと(土木學會誌原稿用紙 2 枚以内とし、圖面は縮小した時を考慮し本文中に含める)。

#### 講演に関する注意

3. 講演時間 1 論文に付 20 分以内とす。但し超過する場合は論文要旨御提出の際御申出のこと。
4. 圖面及表 講演の際使用の圖面、寫眞及表等にして豫め當方に於ての整理を希望せらるゝ方は提出順序を明記して昭和 18 年 9 月 15 日迄に名古屋高等工業學校内講演委員會宛御送附ありたし。但し圖面及表の大きさは大體 80 ㎝×105 ㎝程度とされたい。
5. 其の他 映寫設備等御必要の向は論文要旨御提出の際御忘れなく申出ありたし。
6. 本講演に関する事務は總て下記の處にて取扱ふ。

名古屋市昭和區 名古屋高等工業學校土木工學科教室内

土木學會第 5 回年次學術講演會講演委員會

## 圖書室及娛樂室御利用に就て

本會所有の圖書及雜誌は本會圖書室に備付けてありますから、下記時間内御随意に御閱覽下さい。尙娛樂室には碁、將棋盤を備付けてありますから、御利用を御願ひ致します。

自9月1日至12月28日 自午前9時至午後8時 自7月21日至8月31日 及土曜日 自午前9時至午後4時  
自1月1日至7月20日

但し 日曜及日祭は休み

## 圖書御寄贈の御願ひ

本會は本會所有の圖書雜誌を整理し、圖書室を設備致してあります。又本會誌に新刊紹介欄を設け、新刊書の内容を紹介致して居りますから、會員の著書其の他圖書雜誌は大小に拘らず學會宛御寄贈下さる様御願ひ致します。

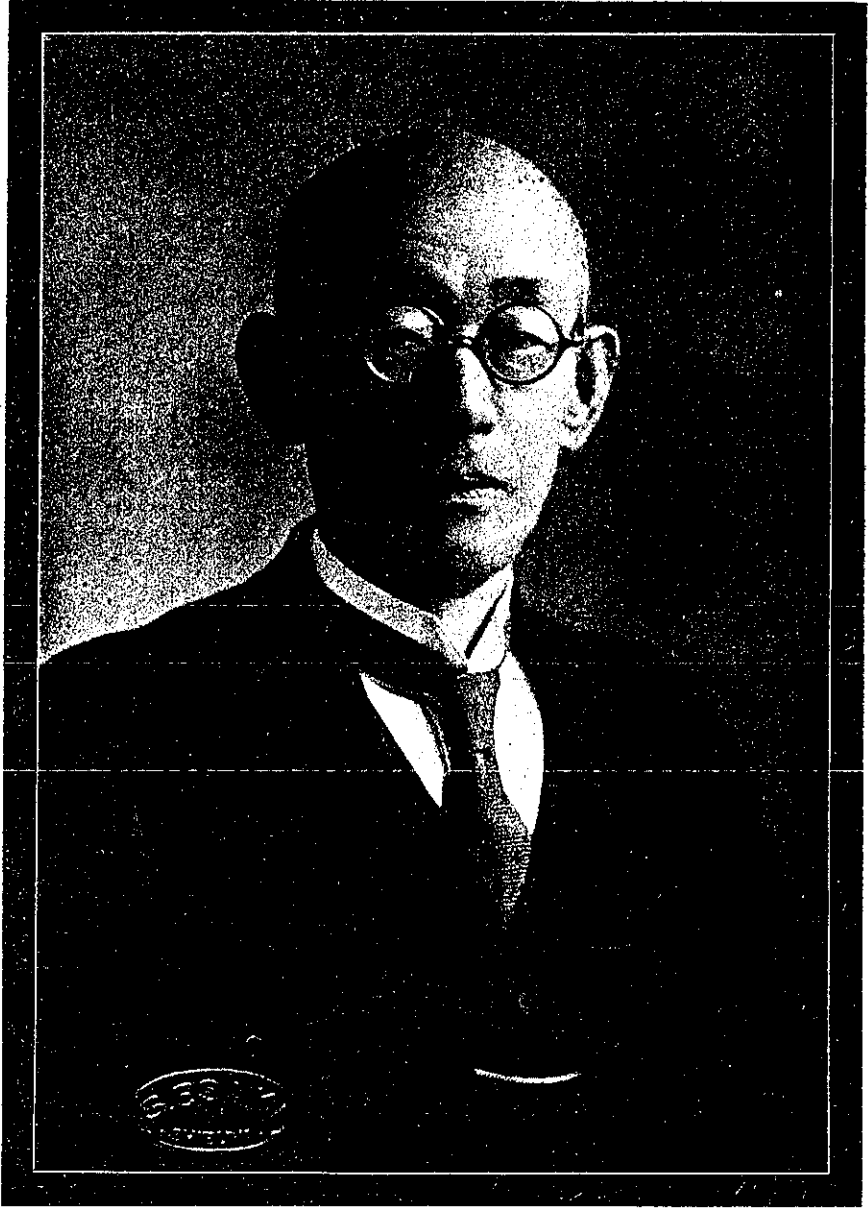
## 徽章佩用に就て

本會の徽章は一般會員の方々に必ず佩用して頂く事に致してをります。講演會、見學會其の他事務所御利用には徽章佩用を必要としますから、未だ佩用せられない方は至急御申出下さい。

1. 寸法徑 14 mm
2. 品種 洋白地金文字浮出し
3. 費實 金 85 錢 (郵送の場合は外に書留郵便料 1 個に付金 17 錢を要す)



(實物大)



故 前會長 男爵 中 村 謙 一 君

## 故 前會長 男爵 中村謙一君略歴

中村謙一君は東京府淀橋に生る。明治三十八年七月東京帝國大學工科大学土木工學科卒業後直ちに鐵道作業局に入り、四十年九月鐵道廳技師、四十一年十二月鐵道院技師に任ぜらる。大正二年八月鐵道事業研究の爲め歐米各國へ差遣せられ、四年六月歸朝、八年鐵道省新庄建設事務所長、十年十月秋田建設事務所長を命ぜられ、十二年十月建設局線路調査課長、十三年十二月建設局計畫課長を命ぜらる。十四年八月男爵襲爵を仰付られ、十四年十二月高等官二等に叙せらる。十五年十月鐵道省建設局長に補せられ、昭和三年二月土木學會常議員に選任せらる。四年一月高等官一等に叙せられ、四年二月勳三等に叙せられ瑞寶章を授けらる。四年四月貴族院議員に當選、十五年二月土木學會々長に選任せらる。十七年四月鐵道工事統制協力會々長に選任せられ、十七年六月從三位に叙せらる、又鐵道會議員、鐵道省所管事務政府委員を仰付られ、災害豫防調査委員、發電調査委員等を命ぜらる。

君は官界にありては鐵道省建設事務所長或は鐵道省建設局長として我が國鐵道事業の發達に貢獻する所甚だ多く、又土木學會々長、鐵道工事統制協力會々長、或は鐵道會議員其他各種調査委員として我が國土木界の爲め盡瘁せられ其の功績赫々たり。

昭和十八年二月疾を得て遂に起たず、昭和十八年二月二十六日中野區上ノ原町の邸に薨す。享年六十有二



# 既刊會誌殘部内譯

(昭. 18. 3. 現在)

(\* は殘部有るものを示す)

卷 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額 (1部) (圓)
6	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	—	*	*	*	—	*	*	—	*	—	—	1.00
18	—	*	—	—	*	*	*	*	*	*	*	—	1.00
19	*	*	*	—	*	*	—	*	*	*	*	—	1.00
20	—	—	*	—	—	—	—	*	*	*	—	*	1.00
21	—	—	*	*	—	—	*	—	*	—	*	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	*	*	*	—	—	*	*	*	—	*	1.00
24	*	*	*	*	—	*	*	*	*	*	—	*	1.00
25	—	*	—	—	—	—	*	—	*	*	—	—	1.00
26	—	*	—	*	—	—	*	—	*	*	*	—	1.00
27	—	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	1.00
28	—	*	*	—	—	—	—	—	*	*	*	—	1.00
29	*	*	—	—	—	—	—	—	*	*	*	—	10.0
第 20 卷第 13 號 (創立 20 周年記念號)													1.50
第 21 卷第 7 號 (會誌索引付)													1.30
大正十二年關東大地震害調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書													
同 上 解 說													1.20
土木工學論文抄録第一輯													3.50
土木工學論文抄録第二輯													5.00
土木學會誌索引 (第 1 卷第 1 號~第 20 卷第 12 號)													0.50
土木工學用語彙													2.50

上記殘部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16828 番にお拂込み下さい。